

Portfolio

作家・シナリオライター



久遠真己

- kuon mako -

X



Web
Portfolio



作家 / シナリオライター

久遠真己

四年制大学（史学科）卒
神奈川県在住。2024 年から作家として活動開始

強み

- ①女性向け・男性向けや、HL・BL・GL など問わず、愛や感情が大きい作品
- ②地の文が固め、綺麗な文体
- ③頂いた情報から、お客様の希望を汲み取り、期待を超えた提案をすること

大切にしていること

- ①ご依頼主様の希望を叶える提案をします。
- ②頂いたご連絡には、迅速かつ丁寧に返信します。
- ③ご依頼主様の期待を超える作品を納品いたします。

制作環境

PC : Windows

ドキュメントツール : Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Word、一太郎、InDesign

連絡ツール : Slack、Zoom、discord、ChatWork

デザインツール : Canva、CLIP STUDIO、Photoshop、Illustrator

連絡先

X : <https://x.com/corundum07>

HP : <https://sosack.com/>

メール : contact@sosack.com

できること

小説

個人様向け

ご依頼主様の一次創作を元にした二次創作（同人誌や HP に掲載可）

シチュエーションボイス

個人様向け

配信者様向けオーダーメイド台本

音声作品

個人様向け

DLsite などで公開する作品のシナリオ台本

シナリオ・原案

演劇台本

TRPG シナリオ

ゲームシナリオ

世界観・キャラクターの原案

ライター（別名義で活動）

インタビュー記事

イベントレポート

レビュー記事

ご希望がございましたら、ポートフォリオをお見せ致します。

そのほかのご依頼も含め、まずはお気軽にご相談ください！

(抜き出し)

ただいまは口パクで言おうと思いつながら、ドアノブを握る。冷えた感触に眉をしかめたときだった。

「——大人しいタイプやない？ 従順、って感じ？ 理想なんかは」

向日葵の言葉に、時が、いや、椿の息が止まった気さえた。爪先が凍り付いて、開こうとしたドアが重く感じる。

脳が思考を止めてしまったせいで、椿は会話の一部を聞き逃したが、彼はそんなこと些末に思えてしまう。

「体型？ 体格？ は、中ぐらい。あんま大きいと身体がキツくなるって。毎日付き合わんといかんし」

「うん……俺はおつきいほうが好きやけど……そのほうが……」

「あはは、そやな、突っ込まれるときは大変やな」

「どちらにしろ、待てができるんは必須やけど」

耳に慣れた音声が、物理距離を超えて椿には遠く感じる。僅かな重心の変化で床が軋む音すら、足を掬われそうだった。

途切れ途切れに聞こえてくる。猥談。そういった話に椿は気恥ずかさを覚えるようなたちではない。というよりも、照れなど微塵も浮かばなかった。

椿の頭の中にあつたのは、凄まじいまでの嫉妬だ。理性など容易く押し流す、泥濁流。清らかな雪解け水は山奥から流れていく過程で、泥を、木々を巻き込み、色を濁らせた。

そう濁らせた。清廉な愛情が劣情まじりの嫉妬になるように。聡明な男の目がくぐもった膜が巻かれるように。

彼女らは飼い犬の話をしているにすぎない。

だが椿は、向日葵は恋人に求める要素の話をしていると勘違いしてしまっただけだ。

てしまったのだ。

制作期間：約 7 週間

文字数：約 13,000 文字

詳細はこちら

傾向

焼き餅を焼く攻めを「かわいいなあ」と宥めてる受けに、攻めが最終的に絆される



制作で工夫した点

- ①セクシーかつ甘め雰囲気を中心掛け、地の文を多く描写しました。
- ②大型犬な攻めと猫っぽい受けという構図を意識して、差を強調をしました。
- ③勘違いによって怒りを募らせる攻めが、それに気が付いたときに力関係が変わるシーンを意識しました。

(抜き出し)

「……なあ、柚月。最近、なんか悩んでることかないか？」

タイミングを見計らい、軽い口調で話しかけた。あくまで雑談の延長に見せかけて、彼の心の奥に潜む悩みへと自然に切り込んでいく。

柚月は一瞬だけ驚いたように目を見開いた。ちびちびとビールを喉の奥に流し込む。心の奥に封じ込んだ悩みが、せり上がってくるのを押さえたかったからだ。

だが、そんな誤魔化しを選択はできなかった。少し曇った北斗の表情を目にしたからだ。つい項垂れてしまうが、口だけは動かした。

「……いや、まあ、実はさ……同性相手っていうのもあるし、それに俺が受ける側っていうのもまだ慣れなくて……どうしても不安なんだ。うまくできてるのか、……北斗に満足してもらえてるのか……って」

北斗は聞き手に徹して、静かに頷く。態度全体で、柚月の言葉を受け止めた。彼がここまで素直に自分の気持ちを打ち明けるのは珍しく、その姿に愛おしさを感じる。

「未知のことに不安を感じるのは当然だ」

それを顔に出さず、彼が安心できるような言葉を選んでいく。

「誰だって、初めてのことに怖さがあるし、それを感じるの自然なことだ。でも、無理する必要はないんだよ。お前がどう感じるか、それが一番大事だからさ。俺はお前が無理しているのを見たくないし、そんなことをさせるつもりもない」

説得の言葉に、柚月は少し驚き、そしてほっとしたように微笑んだ。その表情は、どこか安心したような表情で、北斗にとってはそれだけで十分だった。

制作期間：約 8 週間

文字数：約 29,000 文字

詳細はこちら

傾向

二人の関係に悩む受けを、当て馬に嫉妬することを隠した攻めが優しく包み込む



制作で工夫した点

- ①社会人である攻めの包容力と、それに甘えすぎないように努力する受けの健気さに注力いたしました。
- ②当て馬である男性モブを真面目で一途な友人として描写し、読了感を爽やかなものにいたしました。

(抜き出し)
「幸い、次の公務まで三十分あるから休んで。私にもたれてもいいから」
恐れ多くも、百夜様にもたれる……………？
言葉の意味を理解して、飛び跳ねてしまいそうだった。実際、身体が元気ならばしてしまっていたと思う。
「しか、し……………百夜様、だつて、おつかれのはず」
「高い所が苦手なのに、頑張ってくれたのは巴月よ。私が労わなくてどうするの」
「その言葉だけでじゅうぶん、です」
「私が頼んでいるのに？」
「それは……………」
「そんなふらふらな様子で背後に立たれたら心配になるわ。これも、次の公務までに顔色を治すためだと思つて」
百夜様の言う通り、仕事に支障をきたすわけにはいかない。
……………今回は緊急事態だから……………
言い訳だとは分かつていても、激しい頭痛に襲われる状態では何も言えなかつた。
私は、頭を百夜様の肩に乗せる。と言っても、乗せたというよりも、触れさせたというほうが正しいぐらいの仕草に抑えた。自分の重さを、彼女に委ねるなんてできない。唯でさえ、この細肩にも多くのものが乗せられているのだ。そこに私自身を加えたりしたら、自身も自身が許せなくなる。
そして、そもそも……………恥ずかしい。
衣服越しとはいえ、百夜様の体温を感じる。その温度が移つたわけではないのに、頬に熱が宿つた。

制作期間：約 2 週間
文字数：約 5,500 文字

詳細はこちら



傾向

焼き餅を焼く攻めを「かわいいなあ」と宥めてる受けに、攻めが最終的に絆される

制作で工夫した点

- ①日頃の主従関係と、私的な時間のギャップに重きを置きました。
- ②口調やキャラクター性を細かく修正し、作成しました。

(抜き出し)

海が青いのと同じように、人の涙も青いのでしょうか。

人魚は、己の頬を伝った無色透明な液体が水中に吞まれていく音を聞きました。歌は途切れてしまいました。視線は、船上の金糸のヒトに向いています。男は笑っていました。口元から強張りが消える程度の笑みでしたが、男を眺め続けて初めて、人魚は男が微笑むさまを目にしました。

恋を失ったことを、知りました。

地上では一週間が過ぎるような、そんな短い時間でしたが、人魚は緑眼の男に恋をしていたのです。

しかしそれももう、終わってしまったことなのでしょう。

男の、癖が強そうな堅い髪を撫でる人がいました。男の隣に、二本の足で立つ女がいました。男は為されるがままでしたけど、白い頬は赤く色付き、桃色の唇が何か言っています。強い口調のようでしたが、女は止めません。

男が、気位の高い、他者との触れ合うことをよしとしない性格であると、人魚は思っていた。それは間違いではないでしょう。

船の甲板の話は、人魚のいる海面では聞こえません。ですが、人魚には分かりました。男は頭を手で庇いますが、けして女にやり返しません。女はその様子を見て、目を細めました。ニコリと言うより、ニヤリと言ったところでしょうか。女は、男の指に自分の指を絡め、ぎゅっと握ってしまいました。

木々の息吹より鮮やかな瞳を、落としてしまいそうなほど、驚きます。けれど男は、手を離しませんでした。

あの二人が、想い合っていることはヒトならざる者の目から見ても明らかでした。

制作期間：約 1 週間
文字数：約 4,600 文字

詳細はこちら



傾向

おとぎばなしの人魚姫を重ねて、
古き良き悲恋の異類婚姻譚

制作で工夫した点

①固めの文体のバリエーションとして執筆いたしました。

【依頼品】 05 ヤンデレシチュボ シナリオ

VTuber 配信用

(抜き出し)

ほら、見える？ この、ながあい鎖、用意してたの。理由？
そんなの簡単だよ。だって、愛してるから。

きみもわたしを愛しているんだから、これぐらい許してくれる
よね。

きみの手首に、足首に、こうやって輪をかけるの。わたし、きみ
を拘束することをずっと夢見てた。暴れたって、もっと締めまりが
キツくなるだけ。わたしは、絡みついてはなれないよ？

あーあ。気がつくのが遅かったね。そうだよ、わたしはずっと物
分りがいい子を演じていたの。

綺麗なわたしを取り繕って、毒がある本性を隠してた。ほんと
のわたしは、だいすきなきみを独り占めしたくてたまらなかつ
たの。

ずっと、この部屋に監禁したかった。世界中のみんなが、きみの
ことを忘れちゃえばいいと思ってた。そう考えたら、鎖とか首
輪とか、いつの間にかいろいろ準備しちゃったんだよ。

そうだよ、あのね、かわいいきみ。きみの恋人は、うっかり触
れたら死んじゃうかもしれないぐらい、危険な存在だったんだ
よ。

それが分かったなら、口付けして。

こんなわたしでも愛せるって、証明してよ。手足が縛られてても、
唇なら動かせるでしょう。

「愛してる」って言って、キスをして。

だいじょうぶ。毒が回って弱ったとしても、ずっとわたしが
お世話してあげるから。

制作期間：約 3 週間
文字数：約 6,000 文字

詳細はこちら



傾向

ヤンデレ (恋人による監禁バッドエンド)
ヤンデレ (あまあま小悪魔後輩)
添い寝ボイス (あまやかしお姉さん)

制作で工夫した点

- ①人魚の VTuber ということで、モチーフの生態をシナリオに組み込みました。
- ②方向性が違うものをご希望であったため、ヤンデレ系・あまあま系・睡眠導入系の計 4 種類のアイデアをご提案しました。

(抜き出し)

「で、提出した書類と先方の希望が噛み合わなかったから、その領域の勉強をしておそうとしたんやな」

「内容を上司に指摘されてから気がついたことにも、シヨクつて感じ?」

「二回出したもん突き返されたら、そりゃ、落ち込んで当然やわ。うんうん、」

「え、落ち込んでらん?」

「あ、面談やないから! そんな畏まらんというて? 今は休憩中なんやから、そんな真面目にせんでええんよ」

「せやから、今から話すんわ、ただの雑談。評価とかには一切反映されんから、緊張せんでええ」

「素直な気持ちで聞いてくれる?」

「……俺の後輩は、よお頑張つとる」

「中途採用とか、経験が少ないとか、そういうことは気にせんではない」

「必死に努力してる。それだけで十分。むちゃ偉いんやで? やつて、後ろ髪が跳ねたままにしてまうぐらい、全力でやってるんやで?」

「『え? どこ、どこ?』って、右手の辺り、そこやで。元氣なのが一筋立つとる」

「大丈夫、直つたで。そうそう、それぐらい余裕があつたほうがええ」

「焦らんというてや。俺やつて、一足飛びで今みたいにそこそこできるようになったと違う。当時の先輩におんぶに抱っこで、かつこわるいこともあつた」

「せやけど、今は、むっちゃ頼りになる先輩になつとるやろ?」

制作期間：約 1 週間
文字数：約 3,000 文字

詳細はこちら

傾向

関西弁の先輩により励まし・癒やし



制作で工夫した点

- ①先輩の設定 3 種×後輩の設定 3 種×展開の設定 3 種の 9 パターンを提案いたしました。
- ②関西（大阪など）で暮らした経験から関西弁に注力いたしました。

(抜き出し)
お兄さんはここで暮らして、(名前)と生きて、(名前)の腕の中で終わるんだよ。
そう、決まってるの。(名前)がお兄さんを見つけた日から、そう決まっちゃったんだ！
……………頭、おかしい……………？ 狂ってる？ 金持ちの道楽？
むうー！ お兄さん、ひどい！ おかしくないもん。道楽なんかじゃない、初恋だもん、純愛だもん。
そ、お兄さんを飼う。これが、(名前)の愛。
……………狂ってなんか、ないよ、わたしは
なんで、そんな冷たいこと言うの。おかしいよ、おかしい！
ぜんぶ、ぜんぶ、(名前)の思い通りになってきたもん。だから、お兄さんも(名前)のこと、好きになつてくれるはずだもん！
……………そっか。
急にすみかわ変わったから、動揺しちゃったのかな？
うんうん、どんなペットもショップから連れてきたばかりの時は見守りましょう！ って言われるもんね。
あはは、(名前) しっぱい、しっぱい、てへ。
もお、お兄さんは手が焼けるなあ。ペットの習性として、今日は警戒心マックスちゃんでも許してあげます！
だつて、(名前) はいい飼い主で、恋人だから。
ちゃあんと、寛大なところが見せられるのです。
じゃあ、お兄さん。いい子で反省するんだよ？
ちよつと暗いし、狭いし、寒いけど、驕がまだなワンちゃんにはちようどいいゲージでしょ？

制作期間：約 1 週間
文字数：約 2,400 文字

詳細はこちら

傾向

わがままなヤンデレお嬢様に、
監禁されて飼育宣言されるフリー台本。



制作で工夫した点

- ①自らの行いに疑問を感じない性格を、無邪気な言動で表現しました。
- ②常識が通じない面を畳み掛ける台詞で表現しました。

(抜き出し)

だから、おねがい……っ、幼なじみくんだけは、みすてないで。だめなあたしのこと、それでもいいって、言っつて、お願い、おねがい、おねがい……っ！

ゆめならあるから、もったいぶつてごめんさい。だから、気分を悪くしちゃったんだよね……？

あのね、あたし、きみのお嫁さんになりたいの。

そう、お嫁さん。みんなが祝福してくれる、せかいで一番幸せなひと。世界の中心の主役、あのお嫁さんに、なりたいの。

真つ白なウエディングドレスを着て、お日様の光をキラキラ浴びて、みんなが笑顔であたしに花を投げってくれる。

きみはタキシードを着て、今まで一番の笑顔を浮かべて、あたしをエスコートしてくるんだ。

それだけなの、話んでるあたしに残っているのはそれだけ。

きみのお嫁さんになりたい。

こんな芋っぽい服じゃなくて、薄暗い灰色の部屋で引きこもってないで、クラスメイトに睨まれたり、ゴミとか投げつけられたりしない。そんなすてきなあたし、すてきなきみのお嫁さんに、なりたいの、してほしいの。

だから、おねがい、見捨てないで。きみに、きみにまで見捨てられたら、あたし、どうしたらいいか、わかんなくなる。

おねがい、みすてないで、ずっとここにいて。このせかいに一人にしないで。

幼なじみくんが幸せにしてくれないなら、あたし。

あたし、いきてるいみ、ない。

制作期間：約 1 週間
文字数：約 2,700 文字

詳細はこちら



傾向

隠キヤな引きこもり幼なじみに、距離を取ろうと切り出したら、狂氣的に縋り付かれるフリー台本。

制作で工夫した点

- ①他責思考の深掘りを行い、危うさを表現しました。
- ②約 9 分の朗読の中で、喜怒哀楽の全ての演技が出来るようにし、飽きが来ない展開にしました。

(書き抜き)

一面の白が、風に吹かれて揺れている
マーガレットの花畑で、私は佇んでいた。
咲き誇る花卉が太ももをくすぐる。
生命力に溢れるこの花々は今が盛り。
私にとって都合が良かった。
青々した茎に手を伸ばす。
私の手を伝うように、光が浮かび上がった。
魔力の元——ルーメンを集めなければ。
一本、一本、草花に手を翳す。
そのたびに光球が浮かび上がり、
私の周りをゆったりと漂う。
これが魔女たる私の役割。
光の採集に没頭しているときだった。

ルシフ 「..... 綺麗だ。」

ようやく話しかけてくれた。
振り返ると、やっぱりルシフが立ってる。

ずっと背中で気配を感じていた。
私を呼びに来ただろうに、
見ているだけだから不思議だったのだ。

ジル「うん。花はきれい。」

同意を示したはずなのに、
ルシフは曖昧に顎を引くだけ。
返事がないから、私は採集に戻ろうとした。

ルシフ「..... 綺麗だ、出会ったときからずっと。」

言葉の意味が分からなくて、手を止める。
17 本目のマーガレットが、揺れていた。

制作期間：約 1 週間
文字数：約 3,300 文字

詳細はこちら

傾向

人間の感情がわからない魔女と彼女に
出会ってしまった人間の狂おしい恋愛模様



制作で工夫した点

- ①魔女狩りが行われる中世が舞台であるため、重厚さとダークさに重きを置きました。
- ②ゲーム台本を想定して、一行 20 文字に収まるように執筆いたしました。

重い瞼をゆっくりと開いていく。寝ぼけ眼に映るのは、見慣れぬ天井だ。視界の先には

照明器具すらない。荒い息で重い身体を起こせば、自分が床で寝ていたことに気がつく。

手をついた床すら白い。目に痛いほどの、白、白、白。

色を持つのは、同じように身を起こす友人だけだ。

相手を除けば、病的なまでに全てが純白の部屋。

いきなり何もない部屋で目が覚めた現状に、あなたたちはおののくでしょう。

【SAN 値チェック】 1/1D2

〈いきなり白い部屋に放り込まれた PL 達の RP を想定しています〉

〈ロールプレイに満足したあたりで、技能を振ってもらいましょう〉

いつまでも白い部屋に怯えてはいられない。

ここから出るために、辺りを調べ始めるだろう。

真っ白で埃一つない部屋だ。見渡すと、部屋は長方形だと分かる。窓はない。見えづらい扉があるものの、ノブは動かなかった。その事実があなた達を混乱させる。

【目星】

成功→床にうっすらと切り込みがあるのを見つける。

失敗→白い床や壁の反射光で目が痛くなる。

切り込みを押すと、床の一部が外れた。中には、黒革の本が入っている。

取り出してみると、本はずしりと重い。だが、本を開くよりも先に、あなた達は隠し場所に目を奪われる。

本で隠れていた底面には、手書きの一文が書かれていたからだ。

「助かりたくば、キスを為せ」と。

二次創作活動ガイドラインのもと作成
文字数 : 約 28,000 文字

詳細はこちら

傾向

信頼関係にある二人が、互いの秘密ゆえに
疑心暗鬼になりつつも協力する



制作で工夫した点

①プレイヤーが物語に没頭できるように、明確かつ対比的なハンドアウトを作成しました。

②ゲームを行うことになれていない者でも遊べるように、補足事項などを細かく記載しています。

ご依頼の流れ

①ご依頼

メールまたはサイト内のメールフォームよりお問い合わせください。1～3日以内に返信いたします。
ご依頼の内容や納期などの詳細がありますと、ご相談がスムーズになります。



②お打ち合わせ

ご依頼の詳細を確認して、相応しい内容をご提案させていただきます。お打ち合わせはメールを基本に、ZOOMやDiscordなどオンライン通話も対応可能です。



③プロット提出

ご依頼内容の確認のため、プロット（企画書）をお送りいたします。方向性や内容などに間違いがないかよくご確認ください。



④本制作

プロットに問題がなければ、執筆を進めて参ります。本制作以降の大幅な修正は別途制作料金をいただいております。あらかじめご了承ください。



⑤納品

最終確認後、完成データを納品いたします。納品はできるかぎりご希望のファイルの形式でお渡ししております。（データ容量が大きい場合は、オンラインストレージにてお送りいたします）

ポートフォリオをご覧くださいありがとうございます！
一緒にお仕事させていただく際は、
期待を超える提案を行い、心を込めて丁寧に制作いたします。
どうぞよろしくお願いいたします。